

2月市長定例記者会見報告事項概要

平成29年2月17日(金) 13時30分～

1 予算案概要説明

■予算編成の基本的な考え方

○平成29年度は、市制施行100周年に向けて、新たな一步を踏み出した本市にとり、将来に渡って活力を保ち輝き続けるために、大切な一年であることから、市民の目線に立った「安心・安全なまちづくり」を基本方針として、「第四次防府市総合計画」に掲げるまちづくりの大綱に基づく諸施策に着実に取り組む。

○特に最重要施策である、「環境」「教育」「観光」「高齢障害者福祉」「子育て支援」「活性化」「防災」に加え、「防府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の中間年度に当たることから、人口減少対策と地域創生に関わる諸施策についても、スピード感を持ち、積極果敢に取り組む予算を編成した。

■予算規模（一般会計）

○平成29年度の一般会計の当初予算規模は、412億9千万円で、前年度当初予算と比較すると、4億5千5百万円の減額となっている。

■歳入

○「市税」は、個人市民税の増などの影響を勘案し、対前年度0.5%増の約167億3千万円となっている。

■歳出

○「人件費」は、退職手当の増などにより、対前年度1.1%増の約66億3千万円となっている。

○「扶助費」は、「子どものための教育・保育給付扶助費」の増などにより、対

前年度7.2%増の約111億5千万円となっている。

- 「普通建設事業費」は、「西浦小学校改築事業」「山頭火ふるさと館整備事業」の減などにより、対前年度19.5%減の約47億3千万円となっている。

■市債残高

- 「市債残高」は、「人工芝多目的グラウンド整備事業」の実施や国の地方財政対策による「臨時財政対策債」等、市債の発行に伴い、平成29年度末で約407億円になると見込んでいる。

■基金残高

- 「主な基金の残高推移」は、今後の財政運営の備えとなる「財政調整基金」と「減債基金」をあわせ、平成28年度末では約2億8千万円減の約61億3千万円となる見込み。
- 平成29年度予算では、財源調整のため、財政調整基金から22億6千万円を、減債基金から2億円の取り崩しを計上している。

■総合計画の体系に基づく予算額

- 一般会計と特別会計の総額は、約930億8千万円となっており、施策ごとに掲げた達成目標に向け、着実に事業を推進する。

■主要事業

- 主要事業として42事業、特に重点的に取り組む事業として27事業、うち、新たに実施する新規事業が6事業、内容等を充実実施する拡充事業を30事業としている。
- まちづくりの大綱に沿って、各施策項目ごとの新規事業、拡充事業を中心に、主な事業を説明する。

【大綱の第一

「自然環境への優しさと暮らしの安全を大切にするまちづくり」に関する事業】

- 拡充事業「防災対策の充実」は、

- ・新たな情報発信システムの導入により、迅速にメール配信等を行うとともに、あらかじめ登録された電話やFAXに避難情報等の一斉配信を新たに行うなど、情報発信を強化する。
- ・災害等により行政自らが被災した場合、人・物・情報等の、利用できる資源に大きく制約を受けることから、事前に、優先して実施すべき業務を特定し、執行体制や対応手順等をあらかじめ定めた「業務継続計画」を策定し、災害発生時の業務体制の強化を図る。

➤拡充事業「浸水対策の推進」は、向島地区における高潮や内水氾濫による浸水被害防止のため、平成26年度から継続的に排水対策事業に取り組んでいるが、29年度は郷ヶ崎西ポンプ場の建設工事に着手する。

【大綱の第二

「健やかな日々と地域のぬくもりにみちたまちづくり」に関する事業】

「子育てするなら防府」の確立に向けた諸施策として

- 新規事業「子育て世代包括支援センターの開設」は、10月に保健センター内に設置し、妊娠期から子育て期にわたり支援を要する方に対し、関連機関と連携し包括的な支援を行う。
- 拡充事業「赤ちゃんの駅の整備」は、外出時に授乳やオムツ交換を、人目を気にすることなく出来る赤ちゃんの駅の整備をすすめるとともに、新たに、臨時の赤ちゃんの駅を開設するための備品等を整備し、市内で開催されるイベントなどに貸し出しを行う。
- 拡充事業「留守家庭児童学級・クラブの充実」は、留守家庭児童の増加に対応し、新たに牟礼第二留守家庭児童学級の運営を開始するなど、子育て世帯の「仕事と子育ての両立」を支援する。さらに、公費負担による小学校卒業までの医療費無料化などの経済的な支援や、子育て支援情報をわかりやすいメニュー体系で提供する子育て応援サイトの運営などを引き

続きおこない、子育て環境の充実に努める。

- 拡充事業「がん検診の促進」は、胃がんの更なる早期発見・早期治療にむけ、新たに胃内視鏡による検診を実施する。
- 拡充事業「高齢者福祉の充実」は、高齢者に対する施策を適切に実施することにより、「健康寿命の延伸」を図るとともに、要介護状態になるおそれのある高齢者を早期に発見し、適切な介護予防事業を実施する。
 - ・ 新たな取組として、支援を要する方を地域全体で支えあう「介護予防・日常生活総合支援事業」を実施し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援を提供する。
 - ・ 認知症の人やその家族が、情報交換や地域の方と交流する「認知症カフェ」を2箇所増やす。
 - ・ 緊急通報装置をコールセンターのオペレーターが対応する方式に変更し、緊急時の通報に加え、安否確認や日常の健康相談等にも対応する。
- 拡充事業「障害者福祉の充実」は、在宅の障害者（児）に対する紙おむつ購入費用に対する助成要件を緩和し、より使いやすい制度とする。

【大綱の第三

「豊かな心の育みと文化の薫りにあふれるまちづくり」に関する事業】

- 本市の「教育行政」については、「教育のまち日本一」をスローガンに掲げ、学校教育の質の向上を図るとともに、学校・家庭・地域と連携を深め、次世代を担う子どもたちを育むための諸施策に取り組む。
- 拡充事業「学校図書館機能の充実」は、学校司書を増員し、学校図書館の充実と利用促進を図る。
- 拡充事業「外国語活動事業の充実」は、小中学校への外国語指導助手の派遣時間を増やすことにより、外国語教育環境の充実を図る。
- 拡充事業「ICT(アイシーティー)機器を活用した教育の推進」は、市

内全小中学校にICT機器（タブレット端末）を導入し、児童・生徒の主体的な学びの充実を目指す。

- 新規事業「夢の教室の開催」は、「夢や目標を持つことのすばらしさ」や「目標に向かって努力することの大切さ」を教えるため、現役または引退したトップアスリートを「夢先生」として小中学校に招聘し、実技を交えた授業を行なう。
- 拡充事業「小中学校施設の耐震化」は、学校施設の改築事業を平成28年度の国の補正予算と併せて、中関小学校、勝間小学校、大道小学校、桑山中学校の建設工事や解体工事に着手する。
 - ・右田小学校のグラウンド整備にあわせ、集中豪雨等の際、河川への雨水流入を調整する雨水貯留施設を埋設し、下流域の浸水被害軽減を図る。
- 拡充事業「人工芝多目的グラウンドの建設」は、防府市スポーツセンター南側運動広場を全面人工芝生化し、サッカーや野球など多目的に利用できるグラウンドとして整備する。
- 新規事業「山頭火ふるさと館の運営」は、本年秋の「山頭火ふるさと館」の開館により新たなにぎわいが創出されるものと期待しており、開館時には特別企画展を開催するなど、「山頭火のふるさと・防府」を全国に発信するとともに、人々の交流や活動を生み出す施設として運営する。
- 拡充事業「青少年科学館の改修」は、回廊展示室を、独自の企画で好評を博しているサイエンスショーや科学教室等に活用しやすい空間として改修する。
- 新規事業「ホストタウンの推進」は、東京オリンピック・パラリンピックの開催に向けて、セルビア共和国バレーボールチームのホストタウンとして登録を受けたことから、オリンピックとの交流や、パブリックビューイングの実施を通じ、東京オリンピック・パラリンピックに向けた気運の

醸成や、同国との人的・文化的な交流を深める。

- 拡充事業「宮市本陣兄部家の保存整備」は、保存整備に向けた基本設計を行うとともに土地の公有化を進める。

【大綱の第四

「産業の活力とふるさとの魅力がみなぎるまちづくり」に関する事業】

- 拡充事業「新規就農者・漁業就業者の確保・育成」は、高齢化等により、農業や漁業に従事する方が減少を続けていることから、新規就農者や新規漁業就業者の確保と定着にむけ新たに家賃の補助等を行なう。
- 拡充事業「潮彩市場の運営」は、市内外から来訪される多くのお客様で大変な賑わいを見せている、「道の駅 潮彩市場防府」で、引き続き地域情報や観光情報の積極的な発信を行うとともに、平成28年度補正予算に計上した「地方創生拠点整備交付金」を活用し、施設のリニューアルを行い、更なる「にぎわい創出」や「稼ぐ力の向上」を図り、水産振興や観光振興による地域活性化を推し進める。
- 継続事業「企業誘致の推進」は、優遇措置の紹介や土地情報の提供等を行い、積極的な企業誘致を展開する。
- 拡充事業「中小企業の振興」は、「創業するなら防府」の実現に向け、新たに創業する事業者に対して、事業が安定するまで間、きめ細かな支援を行うとともに、新たな取組として、中小企業が取り組む人材育成に対して支援を行なう。また、パッケージデザイン等の勉強会を開催し、防府らしい統一感のあるパッケージデザイン案を、作成するなど、地域全体のブランド力向上を図る。
- 「住宅・店舗リフォームの助成」は、予算を増額し、リフォームに関わる産業の活性化を図ってまいります。
- 新規事業「働き方改革の推進」は、働きたいという意欲はあるものの、

行動を起こせないでいる女性に対して、相談から企業とのマッチングまで、伴走しながら支援を行う「(仮称) 防府市女性しごと応援テラス」を設置する。また、「働きやすい職場づくり」に取り組まれている企業を認定し、人材確保等に対する取組に助成を行う。

○観光に関する諸事業

- 拡充事業「観光地の魅力創造の推進」は、市内に点在する観光資源を活かした「(仮称) ほうふ『幸せます』まち博」づくり推進プロジェクトに取り組むとともに、市内の観光地を自転車で散策するモデルコースの作成やレンタサイクル取扱所の新設などに取り組む。
- 継続事業「明治維新150年に向けた取り組み」は、平成30年の明治維新150年に向け、幕末・明治維新の頃の史跡が多く残る、「明治維新発動・発進の地 二千年の史都・ほうふ」の魅力を発信する。
- 新規事業「観光基盤の整備」は、防府天満宮付近に新たに観光駐車場を設け、車で来訪される方の受入体制を整えるとともに、JR防府駅の観光案内所を駅構内に移設し、鉄道を利用される観光客の利便性向上を図る。

【大綱の第五

「都市のうるおいと生活空間の快適さのあるまちづくり」に関する事業】

- 拡充事業「計画的なまちづくりの推進」は、計画的なまちづくりを進めていくための指針となる「都市計画マスタープラン」の見直しに取り組むとともに、公共交通ネットワークの再構築に向け、買い物や通院に便利な循環バスの実証運行等諸調査を踏まえた「地域公共交通網形成計画」を策定する。
- 拡充事業「高齢者等の外出支援」は、好評を得ている「高齢者の外出支援事業」で助成条件や内容を大幅に見直し、より利用しやすい制度へ拡充する。

- 新規事業「佐波川睦美橋の架替」は、市北部小野地区において一級河川佐波川にかかっている睦美橋の老朽化が進んでいることから、国土交通省が実施する河川改修事業にあわせて、5年計画で架け替えを行なう。
- 新規事業の「富海駅トイレの整備」は、富海駅周辺に下水道が敷設されることから、既存の駅舎トイレを改築し、駅利用者や地域住民の利便性向上を図る。
- 拡充事業「三世代同居の推進」は、三世代同居をされる方に対して、住宅の取得費用や増改築にかかる費用の補助を引き続き行うとともに、新たに富海地区において、三世代住宅の建設に向け敷地整備等を行なう。
- 拡充事業「空き家等対策の推進」は、全国的に「空き家」の増加による地域環境の悪化が問題となっておりますので、空き家が発生する前の対策として、「空き家セミナー・個人相談会」を開催するとともに、所有者が危険な空き家等を解体される費用の一部を助成する。また、地域環境に悪影響を及ぼしている危険な空き家に対し、地域が取り組まれる環境美化等の対策について、必要となる資材等の提供を行う。
- 「佐波川水辺空間の整備」は、国土交通省が実施する「かわまちづくり支援制度」を活用し、新橋地区において、桜本・桜つつみ公園や、佐波川右岸公衆トイレ等の整備を行う。

【大綱の第六

「自ら担う喜びとみんなで支えあう力で築くまちづくり」に関する事業】

- 拡充事業「富海地域の活力創出」は、富海地域が取り組まれる「藍を活かした地域おこし」を支援し、住民主体の地域づくりを促進する。
- 拡充事業「防府市協働事業提案制度の開始」は、地域の課題やニーズに的確かつ効果的に対応するため、市民と行政が協働して事業を行う「防府

市協働事業提案制度」を開始し、事業の選考を行う。

- 「行政改革への取組」は、時代の要請に応じ、いち早く行政改革に取り組んできたが、決して歩みを止めることなく、将来にわたり自立できる行財政運営を行うため、「施策・事務事業の総点検」等に取り組み、限られた行政資源を効果的に活用する。
- 「コンビニ交付サービスの導入」は、本年7月からコンビニエンスストアで住民票や所得課税証明書等の交付サービスを開始し、利便性の向上を図る。
- 拡充事業「ふるさと寄附金の推進」は、新たに寄附金の使途を指定できる仕組みを取り入れ、選択いただいた事業の財源として活用する。
- 継続事業「新しい庁舎の建設」は、新庁舎とまちづくりとの関わりや、庁舎建設の基本的な考え方を示した「防府市庁舎建設基本構想・基本計画」について、地域へ出向き説明会を開催する等、住民に周知を図る。

○現在、わが国は「人口減少」という大きな課題に直面しており、本市も決して例外ではない。そうした中、地方創生へ積極的に取り組むことにより、自らの力で地域の魅力を高め、課題解決へ向かって力強い一歩を踏み出すべく、平成29年度予算を編成した。

○市民の皆様が、「学ぶなら防府、働くなら防府、住むなら防府」と誇りを持って、安心して住み続けられるふるさと創りに先頭に立ち、取り組む。

以上

2 定例記者会見報告

1)、平成28年度生涯学習フェスティバルの開催について

○3月12日(日)、午前10時からルルサスほうふ及びアスピラートで開催する。

○このフェスティバルは、日頃の学習成果発表や公開講座、体験コーナーで、様々な学習の機会を設けることで、市民の皆さまの学習意欲の向上促進を目的として開催する。

2)、3月の観光に関することについて

「第7回うめてらす梅まつりファイナルステージイベント」

○1月の記者会見で述べているが、2月19日(日)から3月5日(日)まで、まちの駅うめてらすで「第7回うめてらす梅まつり」が開催される。

○本日は、最終日の3月5日(日)、午前9時30分から開催する、うめてらす梅まつりファイナルステージイベントについてご案内する。

桑山公園の桜の開花に合わせてぼんぼりの点灯

○3月下旬から4月中旬までの間、防府市観光協会では、桑山公園の桜の開花に合わせてぼんぼりの点灯を行う。

○点灯時間は午後6時から午後9時までとなっている。

3)、「マイマイ新子と千年の魔法」について

○注目されている片淵須直監督の防府を舞台とした「マイマイ新子と千年の魔法」が市内映画館でリバイバル上映されています。

4)、三田尻御茶屋 英雲荘の入館者数について

○平成の修理を経て、平成23年9月にリニューアルオープンした三田尻御茶屋英雲荘の入館者数が、近々、4万人に達成する見込みとなった。

○これを祝し、4万人目の来館者へ記念品の贈呈する。

○到達日の直前には、報道各位に再度のご案内(報道資料の投げ込み)を予定している。

5)、その他

○先月の定例記者会見以後、今日までに、公用車による事故が3件発生、いずれの事故も市役所敷地内の公用車駐車場において、車両の発進及び駐車する際に、不注意により障害物などに接触し、車両を傷付けた事故でした。

○引き続き、職員への交通安全啓発、安全運転指導を行っていく。